

九州地域の経済は、持ち直している

(前回:九州地域の経済は、持ち直している)

生産は持ち直している。輸出は2か月ぶりの減少。個人消費は緩やかに持ち直している。雇用は、求人改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している。

■11月生産:持ち直している
(10月:持ち直している)

- 鉱工業生産指数 102.4
前月比 +1.7% (6か月連続)
前年同月比 ▲3.4% (14か月連続)
- 全13業種中、上昇は9業種
汎用・生産用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業、パルプ・紙・紙加工品工業、鉄鋼・非鉄金属工業 等
- 低下は4業種
輸送機械工業、その他工業 等

(出所:九州経済産業局)

■11月輸出:減少(2か月ぶり)
(10月:増加)

- 輸出額 5,295億円
前年同月比 ▲10.0% (2か月ぶり)
- 主要品目
自動車 1,421億円 ▲17.7% (2か月ぶり)
電子部品 724億円 ▲11.3% (9か月連続)
鉄鋼のフラットロール製品 344億円 +6.3% (7か月ぶり)
- 国別
中国 1,479億円 ▲0.7% (7か月ぶり)
米国 739億円 ▲12.1% (2か月ぶり)
韓国 553億円 +3.7% (4か月連続)

(出所:門司税関)

■11月個人消費:緩やかに持ち直している
(10月:緩やかに持ち直している)

- 百貨店・スーパー販売額(全店)
1,312億円 前年同月比 ▲2.0% (2か月ぶり)
- コンビニ 986億円 +1.8% (9か月ぶり)
- 家電大型専門店 294億円 +31.0% (2か月連続)
- ドラッグストア 574億円 +7.1% (2か月連続)
- ホームセンター 296億円 - (-)
- 新車登録台数 35,525台 +8.3% (2か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■11月雇用:求人改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している
(10月:求人改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している)

- 有効求人倍率 1.07倍
前月比 +0.03 (2か月連続)
- 新規求人倍率 1.93倍
前月比 +0.14 (2か月ぶり)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■業況:改善(2四半期連続)

- 12月の業況DI (%ポイント)
全産業 ▲9 変化幅+13
製造業 ▲13 変化幅+16
非製造業 ▲6 変化幅+13
- 先行き(3月)
全産業 ▲13 変化幅▲4
製造業 ▲14 変化幅▲1
非製造業 ▲12 変化幅▲6

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■設備投資:減少(2四半期連続)

- 19年度(実績)
全産業 +10.0%
製造業 +21.3%
非製造業 ▲4.8%
- 20年度(計画)
全産業 ▲9.0%
製造業 ▲6.0%
非製造業 ▲14.1%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■11月住宅建設:減少(16か月連続)

- 新設着工戸数 6,264戸
前年同月比▲13.2%
(16か月連続)
- 持家 2,576戸
▲5.4% (16か月連続)
- 貸家 2,576戸
▲12.6% (5か月連続)
- 分譲 1,091戸
▲28.2% (2か月ぶり)

(出所:国土交通省)

■11月公共投資:増加(2か月ぶり)

- 工事請負金額 1,092億円
前年同月比+1.7% (2か月ぶり)
- 発注者別前年同月比
国 +67.0%
独立行政法人等 ▲62.3%
県 +10.2%
市町村 ▲11.8%

(出所:西日本建設業保証株)

■11月倒産:減少(5か月連続)

- 倒産件数 45件
前年同月比 ▲18.2%
- 負債総額 53.9億円
▲65.1% (2か月連続)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 9件 (+28.6%)
卸・小売業 13件 (+8.3%)
建設業 8件 (▲60.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。

九経マンスリー（2020年11月）

2021年1月13日
九州経済産業局

今月の管内経済動向：九州地域の経済は、持ち直している

生産は持ち直している。輸出は2か月ぶりの減少。個人消費は緩やかに持ち直している。雇用は、求人に改善がみられるものの、引き続き、求職が増加している。

概 況	九州の主要経済指標(2020年11月)		
1. 生産動向 11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、102.4となり、前月比が+1.7%と6か月連続の上昇となった。	■生産動向【九州経済産業局】	前月比	前年同月比
	生産指数	102.4	1.7 ▲3.4
	(参考)出荷指数	101.7	▲1.0 ▲2.3
	在庫指数	98.3	▲0.7 ▲6.8
2. 設備投資動向 2020年度の設備投資(計画)は、製造業は前年度比▲6.0%、非製造業は同▲14.1%、全産業は同▲9.0%と前年度を下回る見込み。	■設備投資動向【日本銀行福岡支店】(2019年度実績、2020年度計画)	2019年度	2020年度
	全産業	10.0	▲9.0
	製造業	21.3	▲6.0
	非製造業	▲4.8	▲14.1
3. 貿易動向 11月の輸出額は、前年同月比▲10.0%と2か月ぶりの減少。輸入額は▲12.0%と20か月連続の減少となった。	■貿易動向【財務省】		
	輸出通関額	5,295億円	▲10.0
	輸入通関額	3,642億円	▲12.0
4. 消費動向	■百貨店・スーパー販売額【九州経済産業局】		
●百貨店・スーパー販売額 11月の百貨店・スーパー販売額は、1,312億円で前年同月比▲2.0%と2か月ぶりの減少となった。百貨店は392億円で同▲11.4%と14か月連続の減少、スーパーは920億円で同+3.0%と2か月連続の増加となった。	合計	131,177百万円	▲2.0
	百貨店	39,167百万円	▲11.4
	スーパー	92,010百万円	3.0
●コンビニエンスストア販売額 11月のコンビニエンスストア販売額は、986億円で、前年同月比+1.8%の増加となった。店舗数は5,605店となった。	■コンビニエンスストア販売額【九州経済産業局】		
	販売額	98,561百万円	1.8
	店舗数	5,605店	▲0.0
●家電販売額 11月の家電販売額は294億円で、前年同月比+31.0%の増加となった。	■家電販売額【九州経済産業局】		
	販売額	29,365百万円	31.0
●乗用車新車登録・届出台数 11月の乗用車新車登録・届出台数は、小型乗用車が前年を下回ったものの、普通乗用車、軽自動車の前年を上回り、乗用車全体で前年同月比+8.3%と2か月連続の増加となった。	■乗用車新車登録・届出台数【福岡県自動車販売店協会等】		
	乗用車計	35,525台	8.3
	普通車	12,766台	23.4
	小型車	8,292台	▲7.7
	軽自動車	14,467台	7.4
●家計調査 ※2018年1月分より一か月遅れの更新となります。 10月の消費支出(二人以上の世帯)は275,931円で、前年同月比+4.7%と7か月ぶりの増加となった。実収入(勤労者世帯)は、同+0.8%と2か月ぶりの増加となった。	■家計調査【総務省】(2020年10月)		
	消費支出	275,931円	(実質) 4.7
	(二人以上の世帯)		
	実収入	516,151円	(実質) 0.8
	(勤労者世帯)		
	平均消費性向(季調値、全国)	66.8%	1.0
●賃金(現金給与総額) 9月の賃金(5人以上の事業所)は、全産業では前年同月比+0.1%と4か月連続の増加、製造業は同▲1.0%と6か月連続の減少となった。	■賃金【各県】(2020年9月)		
	全産業		0.1
	製造業		▲1.0
5. 住宅建設動向 11月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲が減少し、全体で前年同月比▲13.2%と16か月連続の減少となった。	■住宅建設動向【国土交通省】		
	住宅着工計	6,264戸	▲13.2
	持家	2,576戸	▲5.4
	貸家	2,576戸	▲12.6
	分譲住宅	1,091戸	▲28.2
6. 物価動向 11月の消費者物価指数(九州)は、102.1で前年同月比▲0.6%と2か月連続の減少(前月比▲0.5%)となった。国内企業物価指数は、99.9で前年同月比▲2.2%と9か月連続の低下(前月比0.0%)となった。	■物価動向【日本銀行・総務省】		
	消費者物価指数(九州)	102.1	▲0.5 ▲0.6
	企業物価指数(全国)	99.9	0.0 ▲2.2
7. 雇用動向 11月の有効求人倍率は前月比+0.03ポイントの1.07倍、新規求人倍率は同+0.14ポイントの1.93倍となった。	■雇用動向【九州各労働局】		
	有効求人倍率(季調値)	1.07倍	0.03 ▲0.38
	新規求人倍率(季調値)	1.93倍	0.14 ▲0.17
8. 公共投資動向 11月の公共工事請負金額は、前年と比較し、市町村、独立行政法人等が減少したものの、国、県が増加し、全体で前年同月比+1.7%と2か月ぶりの増加となった。	■公共投資動向[工事請負]【西日本建設業保証(株)】		
	請負金額	109,205百万円	1.7
9. 企業倒産動向 11月の倒産件数は前年同月比▲18.2%と5か月連続の減少、負債金額は同▲65.1%と2か月連続の減少となった。	■企業倒産動向【(株)東京商工リサーチ福岡支社】		
	倒産件数	45件	▲18.2
	負債金額	5,389百万円	▲65.1

(注) ・「1. 生産動向」の指数は季調値、ただし前年比は原数値で比較。

・「4. 消費動向」中、消費支出・実収入の前年比は、算出にあたって消費者物価指数(総務省)により実質化。また、平均消費性向は前年差で表記。

九 経 サ マ リ ー

— 最近の九州経済の動向について —

2021年1月13日
九州経済産業局

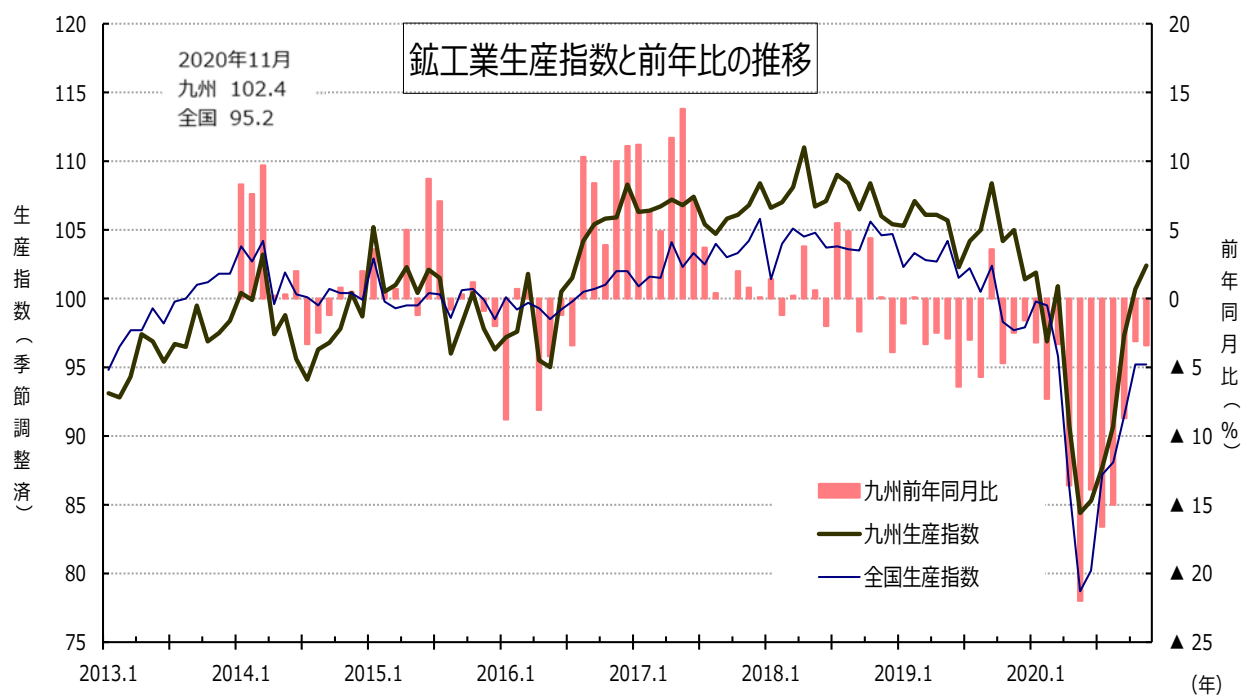
1. 生産動向

(1) 全体

2020年11月の鉱工業生産指数(季節調整済)は102.4となり、前月比が+1.7%と6か月連続の上昇、前年同月比は▲3.4%と14か月連続の低下となった。

	九州				全国			
	季節調整済指数		原指数		季節調整済指数		原指数	
	前月比 %		前年同月比 %		前月比 %		前年同月比 %	
生産	102.4	1.7	103.7	▲ 3.4	95.2	0.0	96.0	▲ 3.4
出荷	101.7	▲ 1.0	104.1	▲ 2.3	94.0	▲ 0.9	94.3	▲ 3.8
在庫	98.3	▲ 0.7	99.8	▲ 6.8	94.6	▲ 1.1	95.8	▲ 8.7
在庫率	116.8	▲ 15.2	112.8	1.3	111.9	▲ 1.8	112.8	▲ 1.2

▲印は低下を示す。(2015年=100)

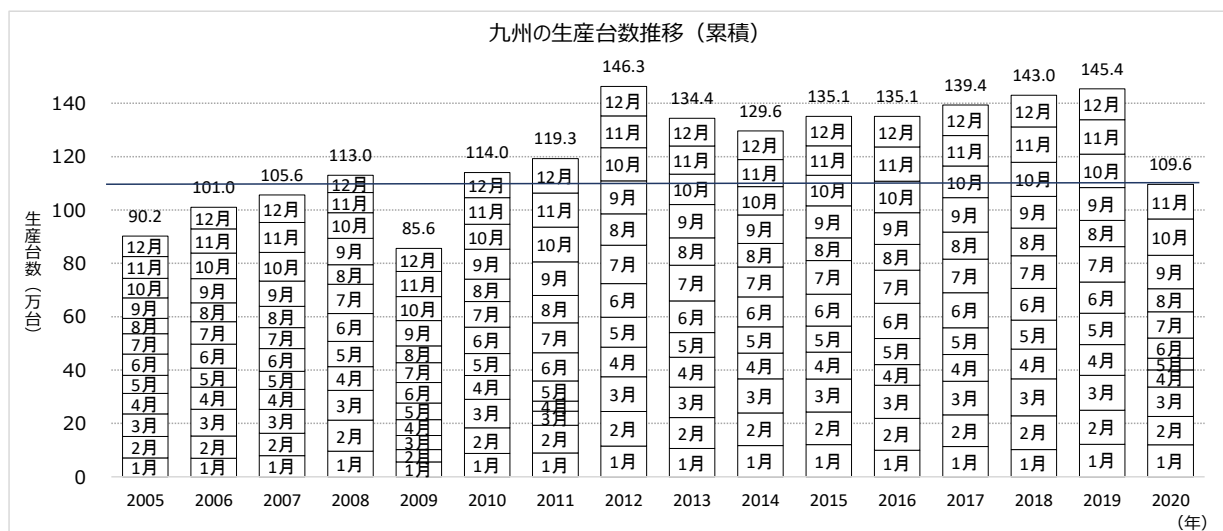


【生産】 前月比 1.7 % 6か月連続上昇（全13業種中 上昇 9業種、低下 4業種、横ばい 0業種）

主な上昇・低下業種/ウェイト		前年 同月比	前月比		主な上昇・低下品目
			前月	今月	
上昇	汎用・生産用・業務用機械工業	1,216.8	▲ 10.4	25.6	6.6 半導体製造装置 等
	電子部品・デバイス工業	1,359.4	8.0	▲ 12.3	4.2 半導体集積回路（CCD・その他） 等
	パルプ・紙・紙加工品工業	190.1	▲ 3.7	▲ 4.8	19.7 紙、製紙パルプ 等
	鉄鋼・非鉄金属工業	770.7	▲ 2.3	3.4	2.9 非鉄金属地金、特殊鋼鋼材 等
低下	輸送機械工業	1,351.7	▲ 0.2	8.7	▲ 1.9 普通乗用車、軽・小型乗用車 等
	その他工業	903.4	▲ 8.0	10.3	▲ 1.4 家具、平版印刷（オフセット印刷） 等

(2) 四輪自動車生産動向

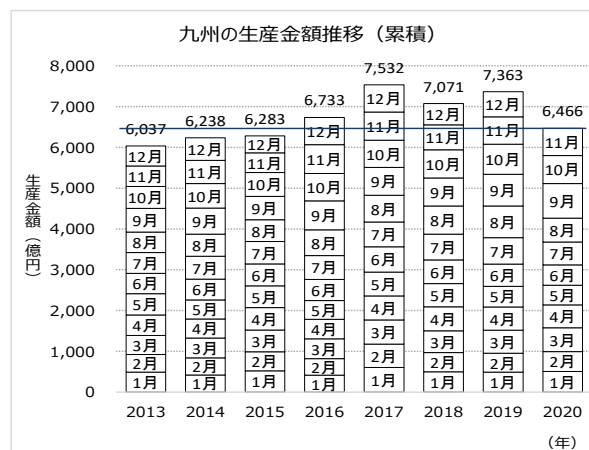
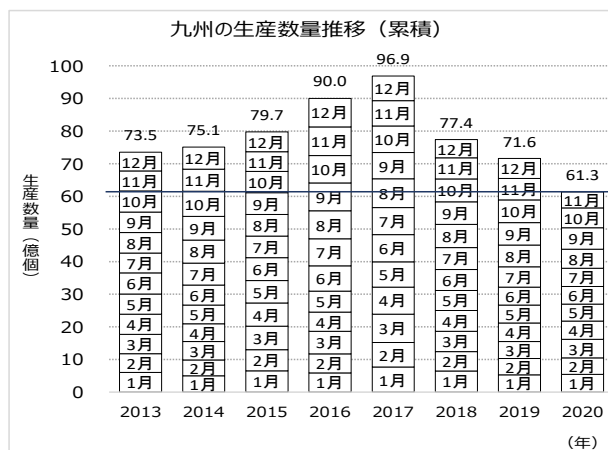
生産台数は 129,816 台と、前月比▲4.6%、前年同月比+0.7%となった。



(3) IC生産動向

生産は、数量で 4 億 8,561 万個と、前月比▲20.4%、前年同月比▲25.5%となった。

金額で 664 億 1,600 万円と、前月比▲3.3%、前年同月比▲1.6%となった。



2. 設備投資動向

設備投資額(含む土地投資額)(九州・沖縄) (前年度比、%)

	19年度		20年度 (計画)	
		修正率		修正率
製造業	21.3	-	▲ 6.0	▲ 6.7
非製造業 (除 電気・ガス)	▲ 4.8	-	▲ 14.1	3.9
全産業 (除 電気・ガス)	10.0	-	▲ 9.0	▲ 3.2
(参考)全国全産業	▲ 0.6	-	▲ 3.9	▲ 1.3

(注1)ソフトウェア投資額・研究開発投資額は含まない。

(注2)修正率(%)は前回調査との対比。

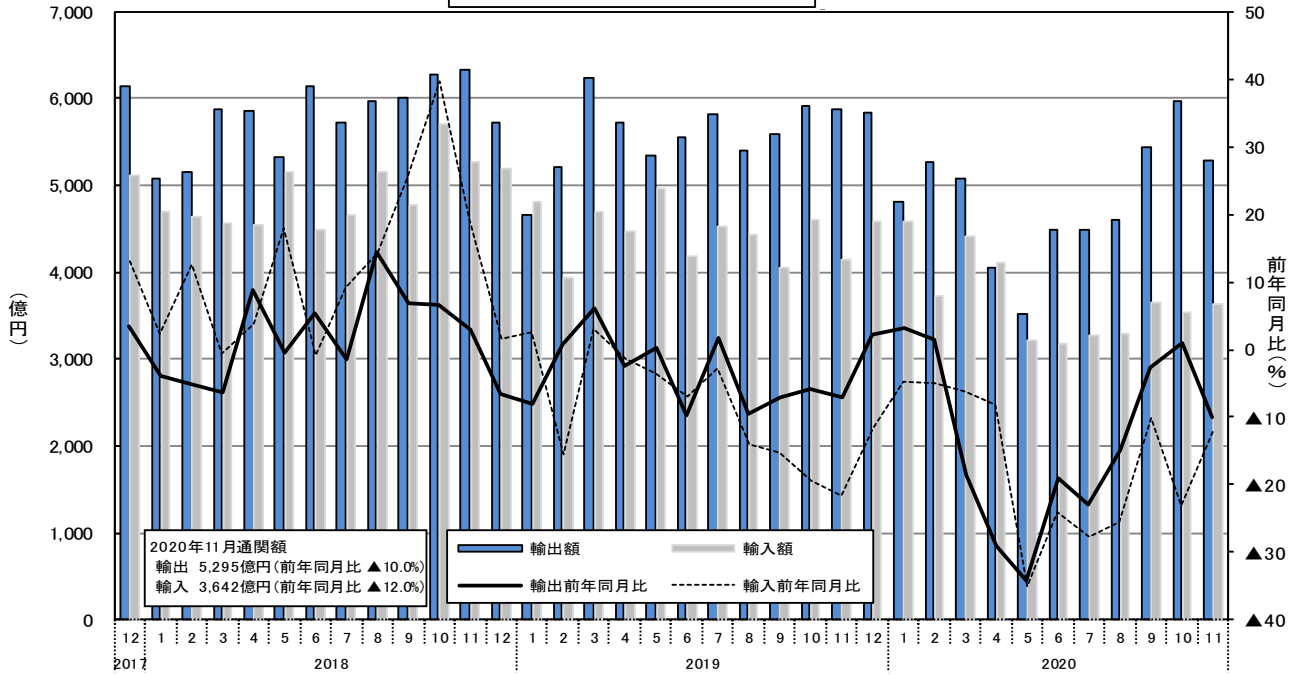
出所:日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」12月

3. 貿易動向

11月		金額		前年同月比	全国 シェア
輸出	九州	5,295億円	▲ 10.0%	2か月ぶりの減少	8.7%
	全国	6兆1,137億円	▲ 4.2%	24か月連続の減少	-
輸入	九州	3,642億円	▲ 12.0%	20か月連続の減少	6.3%
	全国	5兆7,475億円	▲ 11.1%	19か月連続の減少	-
貿易収支	九州	+1,654億円	-	7か月連続の貿易黒字	-
	全国	+3,661億円	-	5か月連続の貿易黒字	-

		2018年	2019年	2019年	2020年		2020年				
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
輸出通関額(円)	九州	1.6	▲ 3.3	▲ 3.8	▲ 5.8	▲ 27.4	▲ 13.7	▲ 14.9	▲ 2.8	1.0	R ▲ 10.0
	前年比:% 全国	4.1	▲ 5.6	▲ 7.8	▲ 5.5	▲ 25.3	▲ 13.0	▲ 14.8	▲ 4.9	▲ 0.2	R ▲ 4.2
輸入通関額(円)	九州	11.5	▲ 9.3	▲ 17.6	▲ 5.2	▲ 22.9	▲ 21.6	▲ 25.6	▲ 10.1	R ▲ 23.1	P ▲ 12.0
	前年比:% 全国	9.7	▲ 5.0	▲ 11.9	▲ 7.2	▲ 16.0	▲ 20.1	▲ 20.7	▲ 17.4	R ▲ 13.2	P ▲ 11.1
対アジア	輸出	4.8	▲ 0.8	▲ 3.2	▲ 5.4	▲ 17.1	2.9	▲ 0.4	10.4	8.9	R ▲ 5.9
	前年比:% 輸入	4.7	▲ 6.7	▲ 12.7	▲ 10.1	▲ 14.5	▲ 15.6	▲ 17.7	▲ 7.9	R ▲ 6.6	P 1.0
為替レート(¥/\$) (期中平均)		110.39	109.01	108.72	108.86	107.60	106.19	106.04	105.74	105.24	104.40
原油輸入価格 (CIFベース\$/B)		72.78	66.79	65.85	67.50	32.28	40.73	43.45	46.25	R 44.54	P 42.28

九州の輸出入通関額の推移(月別)



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

輸出	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	鉄鋼のフラットロール製品	344	+ 6.3%	7か月ぶり	+0.3%	ASEAN(+24.7%)、台湾(+109.3%)、香港(+127.7%)等が増加。中国(▲7.2%)、韓国(▲27.8%)、中東(▲19.4%)、アメリカ(▲35.1%)、EU(▲57.1%)等が減少。
減少	自動車	1,421	▲ 17.7%	2か月ぶり	▲5.2%	韓国(+173.8%)等が増加。中国(▲5.0%)、アメリカ(▲11.7%)、中東(▲55.8%)、台湾(▲25.3%)、ASEAN(▲37.9%)、EU(▲98.3%)、香港(▲27.4%)等が減少。
減少	半導体等電子部品	724	▲ 11.3%	9か月連続	▲1.6%	ASEAN(+21.2%)、韓国(+2.1%)、台湾(+24.2%)等が増加。香港(▲38.6%)、中国(▲9.3%)、EU(▲16.3%)、アメリカ(▲97.9%)、中東(▲100.0%)等が減少。
減少	船舶類	251	▲ 22.3%	5か月連続	▲1.2%	ASEAN(▲64.4%)、韓国(▲94.3%)等が減少。
減少	ゴムタイヤ及びチューブ	146	▲ 30.0%	14か月連続	▲1.1%	韓国(+7.7%)、台湾(+53.0%)等が増加。アメリカ(▲10.6%)、中東(▲27.0%)、EU(▲35.3%)、ASEAN(▲33.3%)、中国(▲33.2%)、香港(▲51.8%)等が減少。
減少	有機化合物	158	▲ 16.8%	9か月連続	▲0.5%	韓国(+43.4%)、台湾(+137.2%)、アメリカ(+22.2%)、香港(+580.3%)等が増加。中国(▲61.8%)、ASEAN(▲4.7%)、EU(▲15.7%)、中東(▲15.4%)等が減少。
減少	半導体等製造装置	192	▲ 13.0%	6か月ぶり	▲0.5%	中国(+10.4%)、韓国(+28.5%)、アメリカ(+191.6%)、中東(+51.0%)、EU(+175.4%)等が増加。台湾(▲82.0%)、ASEAN(▲40.6%)等が減少。

輸入	品目	金額(億円)	前年同月比		寄与度	数量	前年同月比	
減少	原油及び粗油	458	▲ 43.5%	9か月連続	▲8.5%	1,697千KL	▲ 8.4%	2か月連続
減少	液化天然ガス	82	▲ 27.4%	3か月ぶり	▲0.7%	2,328百MT	+ 6.9%	6か月連続

輸出	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度	主要国等の動き ※()内は前年同月比
増加	大韓民国	553	+ 3.7%	4か月連続	+0.3%	半導体等電子部品(+2.1%)、有機化合物(+43.4%)、半導体等製造装置(+28.5%)、自動車(+173.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+7.7%)等が増加。鉄鋼のフラットロール製品(▲27.8%)、船舶類(▲94.3%)等が減少。
減少	香港	275	▲ 34.6%	10か月連続	▲2.5%	鉄鋼のフラットロール製品(+127.7%)、有機化合物(+580.3%)等が増加。半導体等電子部品(▲38.6%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲51.8%)、自動車(▲27.4%)等が減少。
減少	中東	138	▲ 47.5%	7か月連続	▲2.1%	半導体等製造装置(+51.0%)等が増加。自動車(▲55.8%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲19.4%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲27.0%)、有機化合物(▲15.4%)、半導体等電子部品(▲100.0%)等が減少。
減少	EU	237	▲ 34.4%	8か月連続	▲2.1%	半導体等製造装置(+175.4%)等が増加。半導体等電子部品(▲16.3%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲35.3%)、有機化合物(▲15.7%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲57.1%)、自動車(▲98.3%)等が減少。
減少	アメリカ合衆国	739	▲ 12.1%	2か月ぶり	▲1.7%	有機化合物(+22.2%)、半導体等製造装置(+191.6%)等が増加。自動車(▲11.7%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲10.6%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲35.1%)、半導体等電子部品(▲97.9%)等が減少。
減少	ASEAN	848	▲ 5.1%	2か月ぶり	▲0.8%	半導体等電子部品(+21.2%)、鉄鋼のフラットロール製品(+24.7%)等が増加。船舶類(▲64.4%)、有機化合物(▲4.7%)、自動車(▲37.9%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲33.3%)、半導体等製造装置(▲40.6%)等が減少。
減少	台湾	304	▲ 11.9%	3か月連続	▲0.7%	半導体等電子部品(+24.2%)、鉄鋼のフラットロール製品(+109.3%)、有機化合物(+137.2%)、ゴムタイヤ及びチューブ(+53.0%)等が増加。自動車(▲25.3%)、半導体等製造装置(▲82.0%)等が減少。
減少	中華人民共和国	1,479	▲ 0.7%	7か月ぶり	▲0.2%	半導体等製造装置(+10.4%)等が増加。自動車(▲5.0%)、鉄鋼のフラットロール製品(▲7.2%)、半導体等電子部品(▲9.3%)、有機化合物(▲61.8%)、ゴムタイヤ及びチューブ(▲33.2%)等が減少。

輸入	国 別	金額(億円)	前年同月比		寄与度
増加	ペルー	75	+627.4%	3か月ぶり	+1.6%
増加	ASEAN	586	+ 7.1%	10か月ぶり	+0.9%
増加	ナイジェリア	1	+193.2%	5か月ぶり	+0.0%
減少	中東	340	▲ 53.5%	7か月連続	▲9.5%
減少	オーストラリア	320	▲ 20.2%	4か月連続	▲2.0%
減少	ロシア	112	▲ 37.7%	2か月連続	▲1.6%
減少	EU	105	▲ 33.7%	11か月連続	▲1.3%
減少	アメリカ合衆国	325	▲ 5.5%	2か月連続	▲0.5%
減少	中華人民共和国	816	▲ 2.0%	7か月連続	▲0.4%
減少	大韓民国	201	▲ 2.6%	17か月連続	▲0.1%

4. 消費動向

(1)百貨店・スーパー

(単位：百万円、%)

	販売額	合計		販売額	百貨店		販売額	スーパー	
		前年同月比 全店	(既存店)		前年同月比 全店	(既存店)		前年同月比 全店	(既存店)
全国	1,672,171	▲ 3.5	(▲ 3.4)	462,840	▲ 15.1	(▲ 13.6)	1,209,331	2.1	(1.8)
九州計	131,177	▲ 2.0	(▲ 2.6)	39,167	▲ 11.4	(▲ 10.0)	92,010	3.0	(1.4)
衣料品	27,604	▲ 10.5	(▲ 9.8)	16,656	▲ 11.8	(▲ 10.7)	10,948	▲ 8.7	(▲ 8.2)
飲食料品	68,043	0.6	(▲ 0.4)	11,627	▲ 16.0	(▲ 13.8)	56,415	5.2	(3.3)
その他	35,530	0.9	(▲ 0.1)	10,884	▲ 5.2	(▲ 4.3)	24,647	4.6	(2.3)

【注】九州計の数値は沖縄を含む。

	品目	寄与度 (全店)	主な動き (全店)	前年同月比(%)	
				全店	既存店
百貨店	九州計	▲ 11.4	高額品の動きがよかったものの、衣料品や飲食料品の動きが鈍かったことなどから、14か月連続で前年を下回った。	▲ 11.4	▲ 10.0
	衣料品	▲ 5.0	身の回り品が好調だったものの、コート等の動きが鈍かったことから、14か月連続で前年を下回った。	▲ 11.8	▲ 10.7
	飲食料品	▲ 5.0	全般的に動きが鈍く、24か月連続で前年を下回った。	▲ 16.0	▲ 13.8
	その他	▲ 1.3	時計、宝飾、貴金属等の動きがよかったものの、化粧品等の動きが鈍かったことなどから、2か月ぶりに前年を下回った。	▲ 5.2	▲ 4.3
スーパー	九州計	3.0	衣料品が不調だったものの、飲食料品や衛生用品等の動きが良かったことなどから、2か月連続で前年を上回った。	3.0	1.4
	衣料品	▲ 1.2	気温が高く推移したことなどから、コート等の動きが鈍く、2か月ぶりに前年を下回った。	▲ 8.7	▲ 8.2
	飲食料品	3.2	生鮮食品を中心に、全般的に動きが良かったことなどから、13か月連続で前年を上回った。	5.2	3.3
	その他	1.1	衛生用品や洗剤等が好調だったことなどから、2か月連続で前年を上回った。	4.6	2.3

(2)コンビニエンスストア、専門量販店

(単位：百万円、店、%)

	九州				全国			
	販売額	前年比	店舗数	前年比	販売額	前年比	店舗数	前年比
コンビニエンスストア	98,561	1.8	5,605	▲ 0.0	970,016	▲ 2.4	56,525	▲ 0.1
全国比	10.2	—	9.9	—	—	—	—	—
家電大型専門店	29,365	31.0	304	1.7	400,466	25.3	2,562	0.6
全国比	7.3	—	11.9	—	—	—	—	—
ドラッグストア	57,412	7.1	1,536	0.7	585,324	7.1	16,931	3.6
全国比	9.8	—	9.1	—	—	—	—	—
ホームセンター	29,636	—	542	—	282,225	7.3	4,415	1.3
全国比	10.5	—	12.3	—	—	—	—	—

(3) 乗用車新車登録・届出台数動向

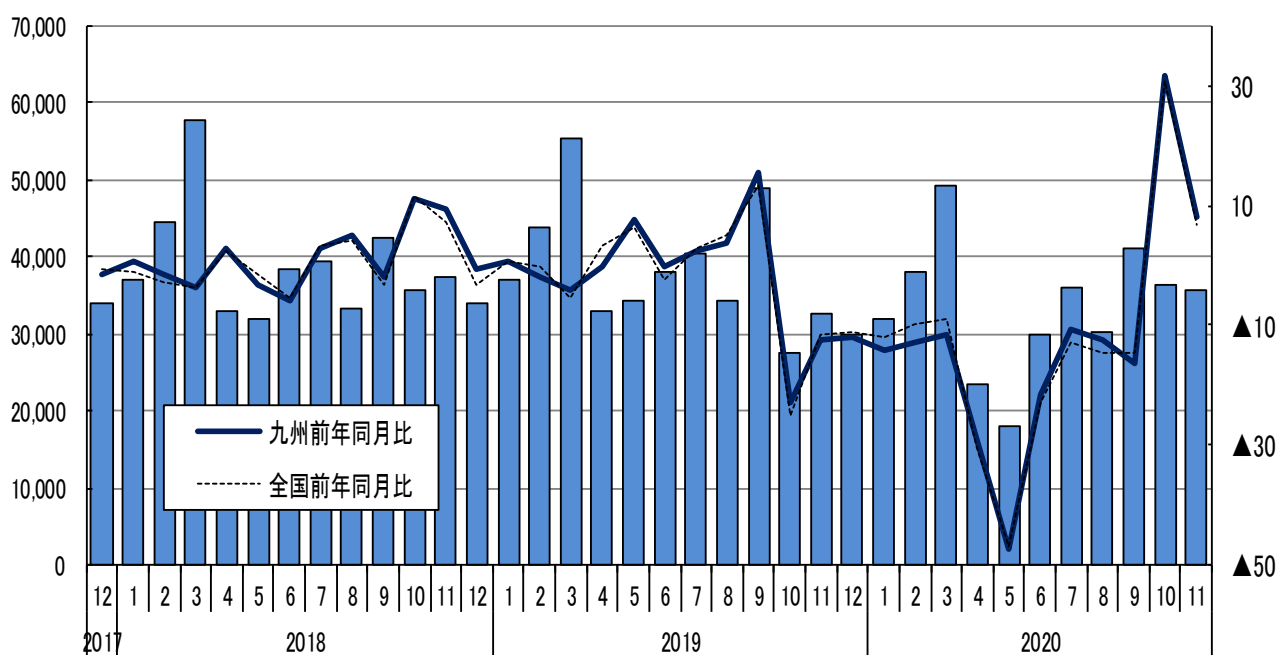
11月	九州			全国		
	台数(台)	前年同月比		台数(台)	前年同月比	
全体	35,525台	+ 8.3%	2か月連続	336,244台	+ 6.7%	2か月連続
普通	12,766台	+ 23.4%	2か月連続	137,216台	+ 21.0%	2か月連続
小型	8,292台	▲ 7.7%	2か月ぶり	81,160台	▲ 11.7%	2か月ぶり
軽	14,467台	+ 7.4%	2か月連続	117,868台	+ 7.2%	2か月連続

		2018年	2019年	2019年	2020年		2020年				
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
九州	全体	0.8	▲ 1.9	▲ 15.7	▲ 12.6	▲ 32.2	▲ 13.4	▲ 12.4	▲ 16.2	31.7	8.3
	普通乗用車	3.2	1.6	▲ 14.4	▲ 17.3	▲ 38.2	▲ 18.7	▲ 17.1	▲ 17.5	46.8	23.4
	小型乗用車	▲ 4.6	▲ 6.1	▲ 19.4	▲ 5.7	▲ 21.3	▲ 14.8	▲ 13.6	▲ 13.2	28.4	▲ 7.7
	軽自動車	3.0	▲ 1.6	▲ 14.1	▲ 13.6	▲ 34.8	▲ 8.1	▲ 8.3	▲ 17.0	23.1	7.4
全国	全体	0.1	▲ 2.0	▲ 16.0	▲ 10.1	▲ 32.9	▲ 14.1	▲ 14.8	▲ 14.7	30.8	6.7
	普通乗用車	2.1	0.2	▲ 15.8	▲ 15.0	▲ 38.7	▲ 19.0	▲ 19.7	▲ 16.5	38.2	21.0
	小型乗用車	▲ 5.8	▲ 5.9	▲ 19.0	▲ 5.2	▲ 23.2	▲ 14.8	▲ 11.4	▲ 14.9	29.9	▲ 11.7
	軽自動車	3.6	▲ 1.1	▲ 13.5	▲ 9.0	▲ 35.0	▲ 8.2	▲ 12.4	▲ 12.7	24.3	7.2

台

乗用車新車登録・届出台数の推移[月別]

(軽自動車含む) 前年同月比 (%)



出所: 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(4) 家計調査動向

(二人以上の世帯)

10月	名 目		実質/前年同月比	
	消費支出	九州	27万5,931円	+ 4.7%
	全国	28万3,508円	+ 1.9%	13か月ぶり

(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

10月	名 目		実質/前年同月比	
	実収入	九州	51万6,151円	+ 0.8%
	全国	54万6,786円	+ 2.5%	10か月連続

出所:総務省「家計調査報告」

(5) 賃 金 (現金給与総額)

9月 九州	現金給与総額	前年同月比		残業時間	前年同月比	
		全産業	23万7,053円		+ 0.1%	4か月連続
製造業	25万8,694円	▲ 1.0%	6か月連続	11.7時間	▲ 20.1%	26か月連続

5人以上規模・全国製造業入り

毎月勤労統計		2018年	2019年	2019年	2020年			2020年				
				10~12	1~3	4~6	7~9	7月	8月	9月	10月	
九州	全産業	5人以上	▲ 0.9	▲ 1.7	▲ 1.6	0.6	▲ 1.1	0.9	1.7	0.7	0.1	-
	製造業		2.0	▲ 3.6	▲ 3.0	0.4	▲ 2.4	▲ 2.7	▲ 4.6	▲ 1.7	▲ 1.0	-
全国	全産業	5人以上	1.4	▲ 0.4	▲ 0.1	0.7	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 1.5	▲ 1.3	▲ 0.9	▲ 0.7
	製造業		1.8	▲ 0.3	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 4.6	▲ 3.7	▲ 5.0	▲ 3.6	▲ 1.8	▲ 1.3

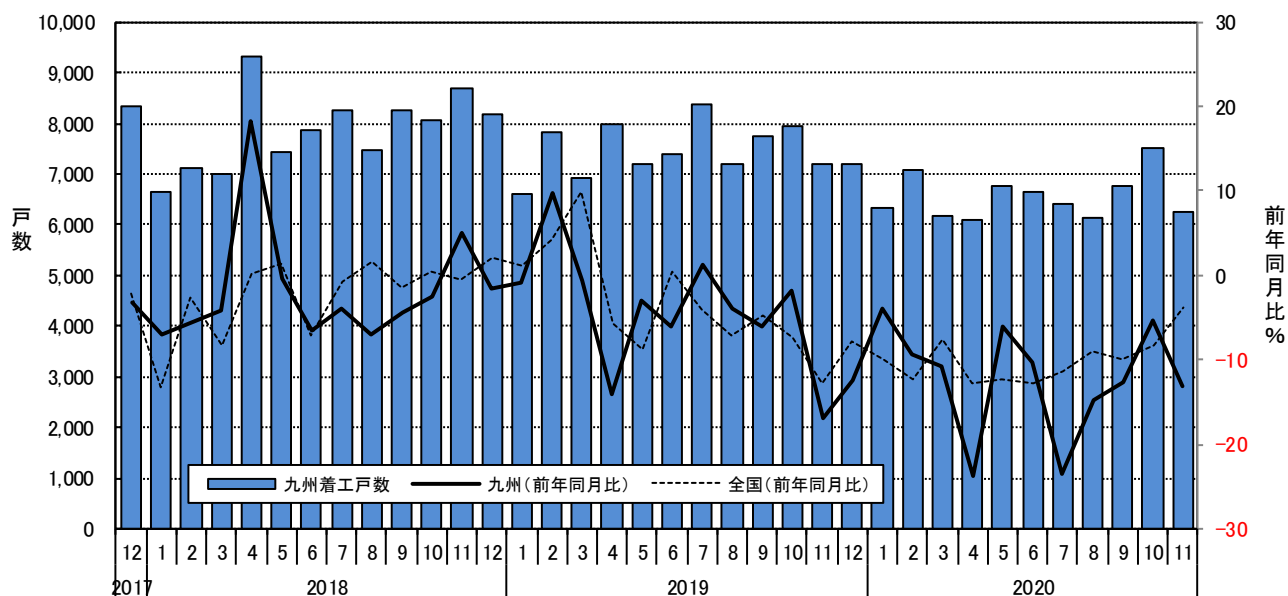
出所:九州各県、厚生労働省「毎月勤労統計調査」

5. 住宅建設動向

11月九州	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	6,264戸	▲ 13.2%	16か月連続
持家	2,576戸	▲ 5.4%	16か月連続
貸家	2,576戸	▲ 12.6%	5か月連続
分譲	1,091戸	▲ 28.2%	2か月ぶり
全国	戸数(戸)	前年同月比(%)	
総数	70,798戸	▲ 3.7%	17か月連続
持家	24,010戸	+ 1.5%	16か月ぶり
貸家	26,451戸	▲ 8.1%	27か月連続
分譲	19,548戸	▲ 6.1%	13か月連続

項目		2018年	2019年	2019年	2020年	2020年					
				10~12	1~3	4~6	7~9	8月	9月	10月	11月
新設住宅着工戸数 前年比:%	九州	▲ 1.7	▲ 5.0	▲ 10.5	▲ 8.1	▲ 13.7	▲ 17.2	▲ 14.7	▲ 12.6	▲ 5.3	▲ 13.2
	全国	▲ 2.3	▲ 4.0	▲ 9.4	▲ 9.9	▲ 12.7	▲ 10.1	▲ 9.1	▲ 9.9	▲ 8.3	▲ 3.7
持家	九州	▲ 1.2	▲ 1.2	▲ 10.8	▲ 9.5	▲ 22.8	▲ 12.1	▲ 6.7	▲ 10.2	▲ 9.3	▲ 5.4
	全国	▲ 0.4	1.9	▲ 7.2	▲ 8.3	▲ 18.2	▲ 9.9	▲ 8.8	▲ 7.0	▲ 6.1	1.5
貸家	九州	▲ 7.2	▲ 11.5	▲ 17.0	▲ 11.9	▲ 4.5	▲ 14.6	▲ 10.4	▲ 12.0	▲ 7.3	▲ 12.6
	全国	▲ 5.5	▲ 13.7	▲ 15.0	▲ 9.6	▲ 12.3	▲ 9.7	▲ 5.4	▲ 14.8	▲ 11.5	▲ 8.1
分譲住宅	九州	13.3	2.9	4.8	1.6	▲ 7.9	▲ 29.2	▲ 36.5	▲ 18.6	4.4	▲ 28.2
	全国	0.0	4.9	▲ 3.1	▲ 11.8	▲ 6.2	▲ 11.7	▲ 15.9	▲ 7.8	▲ 9.6	▲ 6.1

住宅着工戸数の推移(月別)



出所:国土交通省「建築着工統計調査」

6. 物価動向

11月	九州	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	102.1	▲ 0.5%	2か月ぶり	▲ 0.6%	2か月連続
11月	全国	消費者物価指数	前月比		前年同月比	
	総合	101.3	▲ 0.5%	3か月連続	▲ 0.9%	2か月連続

11月	全国	企業物価指数	前月比		前年同月比	
	国内企業物価指数	99.9	0.0%	横ばい	▲ 2.2%	9か月連続
	輸出物価指数(円ベース)	90.1	0.0%	横ばい	▲ 2.1%	19か月連続
	輸入物価指数(円ベース)	82.7	+ 0.5%	2か月ぶり	▲ 10.6%	19か月連続

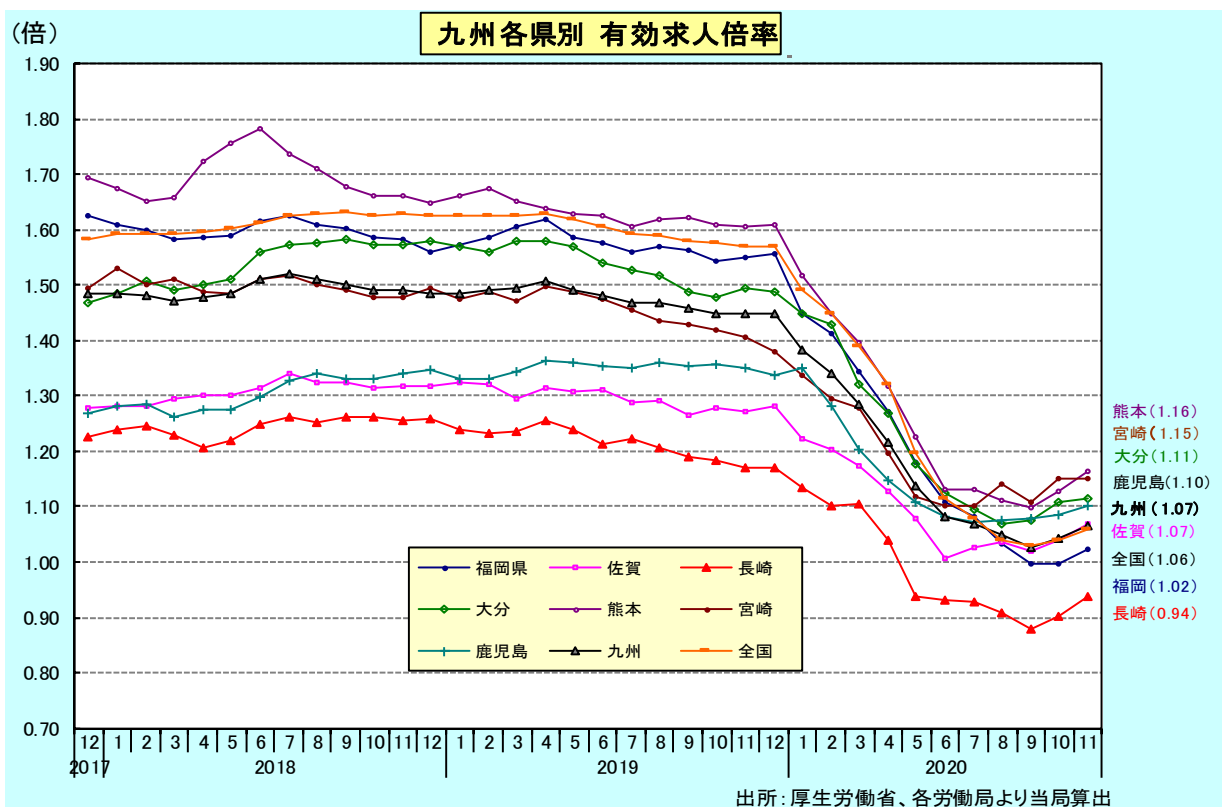
出所:総務省「消費者物価指数」(平成27年基準)、日本銀行「企業物価指数」(平成27年基準)

7. 雇用動向

項目		2018年	2019年	2019年 10~12	2020年 1~3	4~6	7~9	2020年 8月	9月	10月	11月
有効求人倍率	九州	1.49	1.47	1.45	1.34	1.14	1.05	1.05	1.03	1.04	1.07
	全国	1.61	1.60	1.57	1.44	1.21	1.05	1.04	1.03	1.04	1.06
新規求人倍率	九州	2.12	2.15	2.14	1.93	1.72	1.83	1.82	1.95	1.79	1.93
	全国	2.39	2.42	2.42	2.17	1.81	1.85	1.82	2.02	1.82	2.02

(注1)月次と求人倍率の四半期は季節調整済値による

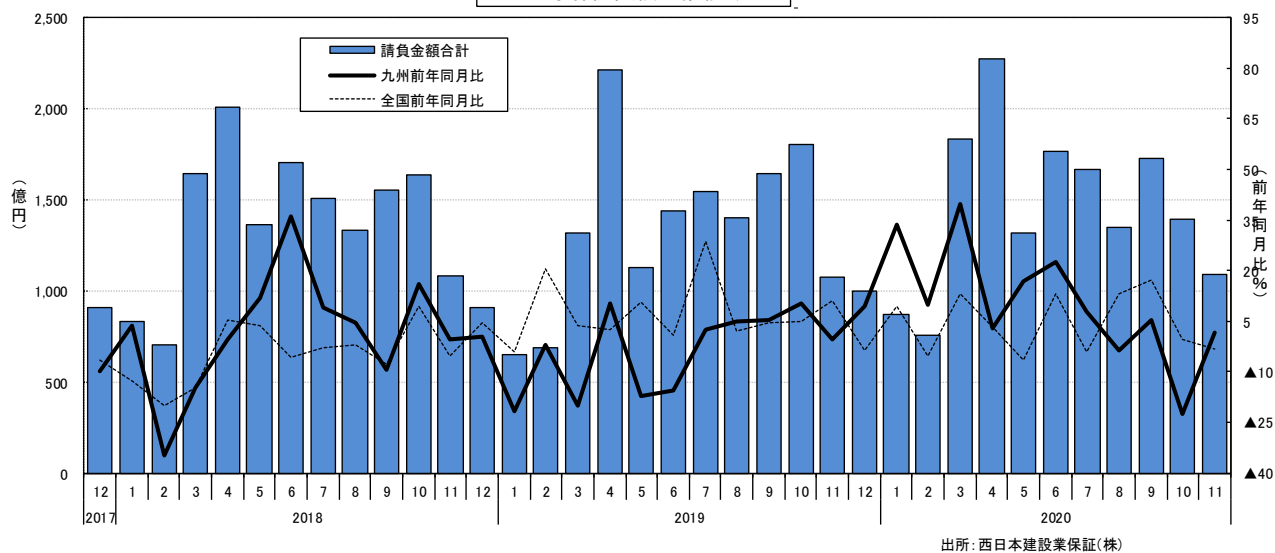
出所:厚生労働省、各労働局資料より当局算出



8. 公共投資動向

11月	請負額	前年同月比		前年同月比				
				国	独立行政法人	県	市町村	その他
九州	1,092億円	+ 1.7%	2か月ぶり	+ 67.0%	▲ 62.3%	+ 10.2%	▲ 11.8%	▲ 37.5%
全国	8,814億円	▲ 3.3%	2か月連続	+ 11.3%	▲ 3.9%	▲ 0.0%	▲ 8.6%	▲ 23.8%

公共工事保証実績の推移(月別)

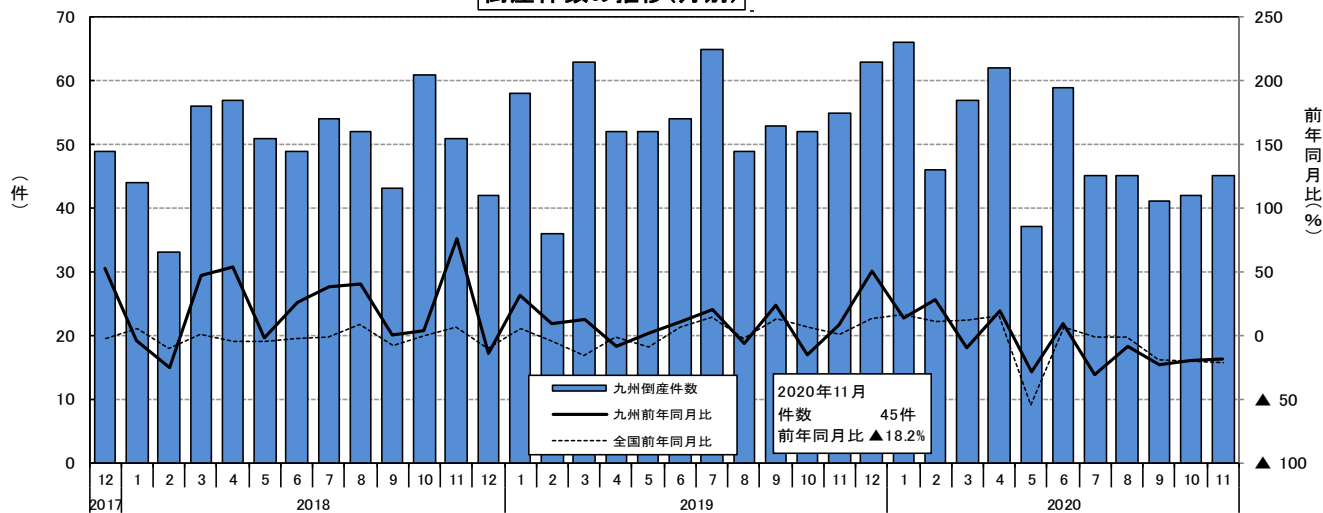


9. 企業倒産動向

11月		前年同月比		
倒産件数	九州	45件	▲ 18.2%	5か月連続
	全国	569件	▲ 21.7%	5か月連続
負債総額	九州	53.9億円	▲ 65.1%	2か月連続
	全国	1,021.0億円	▲ 16.6%	4か月連続

11月 業種別		前年同月比	
倒産件数	製造	9件	+ 28.6%
	卸・小売	13件	+ 8.3%
	建設	8件	▲ 60.0%
	その他	15件	▲ 6.3%

倒産件数の推移(月別)



(参考)業況判断

(1) 日本銀行「企業短期経済観測調査」

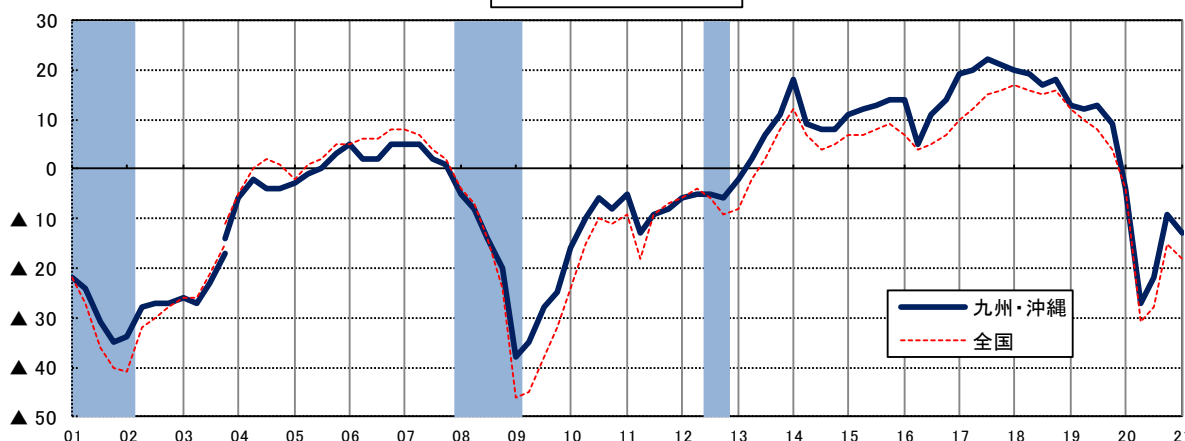
日銀短観(12月調査)によると、九州・沖縄の業況判断DIは、製造業DIは▲13(前回調査比+16ポイント)、非製造業は▲6(同+13ポイント)、全産業で▲9(同+13ポイント)と改善した。次回予測(21年3月)の数値は、製造業は▲14(12月比▲1ポイント)、非製造業は▲12(同▲6ポイント)、全産業で▲13(同▲4ポイント)と予測。

(先行き)

業況判断DI		2018年		2019年				2020年				2021年
		9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月
全産業	九州・沖縄	17	18	13	12	13	9	▲4	▲27	▲22	▲9	▲13
	全国	15	16	12	10	8	4	▲4	▲31	▲28	▲15	▲18
製造業	九州・沖縄	15	13	5	5	2	▲2	▲5	▲31	▲29	▲13	▲14
	全国	16	16	7	3	▲1	▲4	▲12	▲39	▲37	▲20	▲19
非製造業	九州・沖縄	18	20	17	17	18	14	▲4	▲24	▲19	▲6	▲12
	全国	14	15	15	14	14	11	1	▲25	▲21	▲11	▲16

※調査対象企業見直しに伴い、27年3月調査以降は新ベースデータ。

業況判断DIの推移



(注)網掛け部分は景気後退期

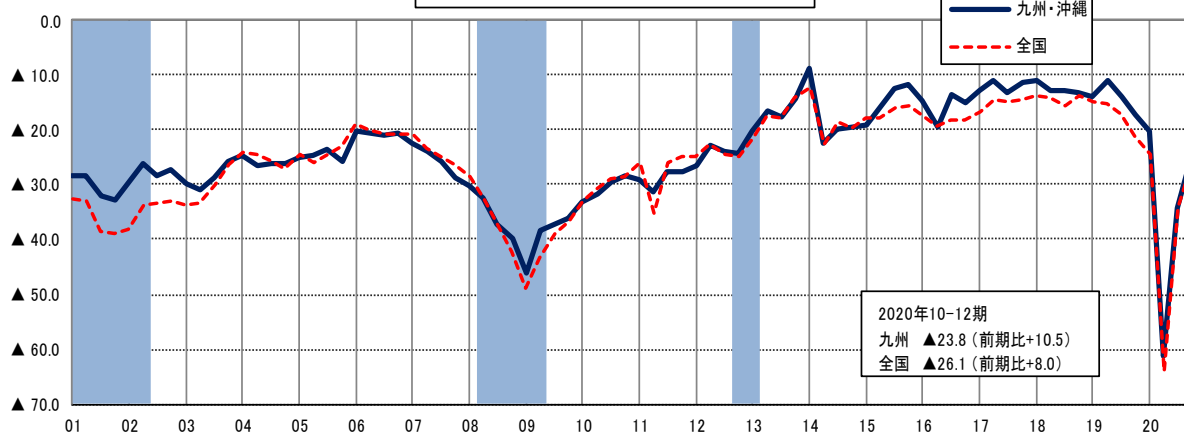
出所: 日本銀行福岡支店 九州・沖縄「企業短期経済観測調査」

(2) 中小企業庁「中小企業景況調査」

中小企業景況調査(2020年10-12月期)によると、九州・沖縄における中小企業の業況判断DI(前期比季調値)は全産業で▲23.8と前期から+10.5ポイントの上昇となった。

業況判断DI (前期比季調値)		2018年		2019年					2020年			
		7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	
全産業	九州・沖縄	▲12.8	▲13.1	▲14.0	▲11.1	▲13.9	▲17.2	▲20.2	▲61.4	▲34.3	▲23.8	
	全国	▲15.6	▲13.7	▲14.8	▲15.4	▲17.1	▲21.2	▲24.4	▲64.1	▲34.1	▲26.1	
製造業	九州・沖縄	▲12.1	▲12.1	▲18.0	▲12.1	▲14.9	▲18.8	▲22.0	▲66.7	▲35.8	▲27.0	
	全国	▲10.5	▲10.7	▲14.0	▲15.0	▲17.5	▲22.6	▲27.4	▲65.9	▲40.8	▲29.2	
非製造業	九州・沖縄	▲12.9	▲13.4	▲13.1	▲10.6	▲13.4	▲16.5	▲20.0	▲59.9	▲33.9	▲22.8	
	全国	▲17.2	▲14.7	▲15.0	▲15.6	▲16.9	▲20.6	▲23.5	▲63.5	▲32.1	▲25.4	

中小企業の業況判断DI(前期比季調値)



(注)網掛け部分は景気後退期

出所: 中小企業庁「中小企業景況調査」